

第9回検討委員会で、委員の皆さんが推薦する建設候補地に関する考えを述べていただきました。その内容は次の通りです。

候補地 1 竜岡団地北側

- ・ 龍岡城駅の周りは道路拡張がされ、歩道もできる。
- ・ 洪水災害区域は半分だけ。
- ・ 50年、100年経って、子ども達が、孫達が本当にここで良かったと思えるものを造ってもらえることが一番良い。

候補地 2 臼田中学校周辺（あいとぴあ臼田東側）

- ・ 子どもへの負担をできるだけ解消するため、1、2年生は2.5km以上でバス通としたい。
- ・ 地権者から用地の取得はいつでも協力すると言われている。
- ・ 新しい所に造れば、跡地利用が考えられる。広域避難場所にも使える。
- ・ 防災マップということが出されているが、千曲川の水位が上がれば土のうが積まれるはずであり、浸水の可能性は0.1%に満たない。
- ・ 給食センターを併設してほしい。
- ・ 中学校のグラウンドが狭く、サッカー部が平で練習しているので、新小学校をあいとぴあ東側に建設し、グラウンドを利用できるようにしてもらいたい。
- ・ 駐車場はスクールバスや車の出入りが円滑にできないとまずい。
- ・ 4校が廃校となり新しい場所に建設し、全て母校がなくなることが最も公平である。
- ・ 工事だけで5年もかかる現地建替えは、在校生の不便と危険性を考えた時、廃案にした方がよい。
- ・ 人数の多い田口地区に造るべきである。
- ・ あいとぴあの東側だと、中学生とほぼ同じ通学路となり、何かと便利で安心できる。
- ・ あいとぴあで公民館活動をしており、社会福祉協議会・デイサービスがあり地域との交流がしやすい。
- ・ あいとぴあの所は、臼田地区の文教地域となっている。そういった所に建てるのが自然。
- ・ 公共交通機関の利用もしやすい。
- ・ 中学校、あいとぴあ、候補地2は、段差なく繋がっていて、交流がしやすい。あいとぴあ、中学校の駐車場も使える。
- ・ 通学距離の公平性が非常に重要であり、その起点になるのは臼田中学校だと思うので、
中学から離れれば離れるほど離れた方の地域は不満が高まる。
- ・ 2校でも良いところを1校に決め、建設資金、運営資金も大分浮かせた。そこで少しわがままを言って災害対策とか、道路整備とか、そういったことをお願いしたい。
- ・ 非常にロケーションが良い。

候補地 3 JA田口支所から小海線の間

- ・ 非常にロケーションが良い。

候補地 6 長慶寺の南側

- ・ 非常にロケーションが良い。

候補地 8 コスモホールの西側

- ・ 洪水災害地域には指定されていない。
- ・ バイパス、中部横断自動車道が開通すれば、利便性が高くなる。

- ・コスモホールの近くにあって、図書館等、文化施設もあり、駐車場も併用できる。
- ・学校の配置の公平性という部分では、西側に小学校、東側に中学校と配置すれば良い。
- ・生活に必要なスーパーマーケットが近くにあり交通の利便性もあり、支所も近く便利な所。
- ・コスモホールの有効活用。コスモホールで音楽会を開催したり、駐車場もあり、小さいながらもグラウンドがある。
- ・佐久平浅間小学校も新しい道に沿ってできていて、インターチェンジも近くにあるが、危険だという印象がない。
- ・今後の臼田の発展を考えると、将来を見据えてここが良い場所。

候補地 9 既存の青沼小学校を含む 候補地 7 青沼小学校寄りの田口と青沼間の農道沿い

- ・子どもに夢を与えられる場所であるかどうかと、どんなものを造って子ども達に夢を持てるようにするかを考えた。
- ・現在の青沼小学校校舎は管理棟として使用。児童公園エリアは、低小花木、芝の植え付け、遊具設置、アウトドアを楽しむ、4校の記念樹の植栽等。多目的広場は、区民運動会や区民スポーツの利用等。三ヶ用水を利用したせせらぎのエリアは、ホタルの里づくり、水中動物の観察、水辺の植物の観察等。その他果樹園の課外教育エリア、花卉栽培の課外教育エリア、校舎建設エリア、児童農園エリア、インターナショナルスクールの設置、フリースクールの設置、郷土館の設置等。
- ・中部横断自動車道が開通すると、中京圏あるいは山梨、静岡の玄関口になる。
- ・下水道の使用頻度の低いグラウンドや駐車場を北へ持っていく。
- ・青沼には唯一田んぼリンクも存在しており、ゆとりあるスペースで伸び伸びと学ぶことができる。
- ・北に浅間、南に八ヶ岳のある大変風光明媚な良いところ。野川にはホタルも飛んでいる。
- ・三条大橋の下では公園のような設備もあり、そちらで遊ぶこともできる。
- ・青沼駅が非常に近くにあり、小海線を使って通学が可能。児童館もすぐ南にある。

候補地 11 既存の臼田小学校

- ・臼田小学校の建替えを希望する理由として、まずは安全性。学校として機能しているので、子ども達の安全性は確保されている。
- ・災害時の避難場所として、川東には臼田中学校、あいとぴあ等があるが、川西には大きな避難場所がない。
- ・環境については日当たり、騒音、排水、校舎・校庭の配置に関しても適切。
- ・まちづくり・地域づくりに関しては、臼田の中心ということで、病院、臼田支所、警察、消防等の公共施設があり、社会学習の場が近隣に多くあり、文部科学省が進めるキャリア教育のモデル地区にもなりうる位、適切な場所。
- ・学校という枠の中で子ども達が学習するのではなくて、地域全体が学習の場であるという考えで学校、保護者、地域が協力し合って子ども達を育てていくのに適切な場所である。
- ・学校の周りには子どもを守る安心の家等、協力してくれる家がたくさんあ

る。

- 通学についても、臼田のほぼ中心部であり、児童割合に関してもほぼ中心であると思う。
- 経済性としては、用地の取得にできるだけお金をかけないで、施設の充実に充ててもらいたい。
- 現地建替えの候補地の中では一番広い。また、バス通学の利用者が少ない。
- 学校建設には大分お金がかかる。負の遺産が増えてしまうと困る。
- 臼田地区はコンパクトシティを目指している。
- 洪水災害区域から外れている。万が一を考えるべき。
- 新たな土地は、土地を売ってくれるかどうか。売ってくれても農地転用の時間や費用がかかる。

その他

- やはり 50 年使う建物なので、この場所に自分達が、子ども達が昔と変わらないな、良い所だったなという選定をしなければいけないと思う。